

資料展示「生誕100年四國五郎」 を実施中です！

広島県出身の詩人・画家で、峠三吉の「原爆詩集」の表紙を描くなど、平和への思いを表現し続けた四國五郎さんが、令和6年5月11日に、生誕100年を迎えました。これに併せて、関連資料の展示を実施しています。

1 期間

令和6年5月7日(火)～6月2日(日)

2 内容

四國五郎さんに関する資料の展示（一部貸出し可）

3 資料

展示資料 28冊

【例】

「反戦平和の詩画人 四國五郎」四國光／著、藤原書店、2023

「ヒロシマを伝える 詩画人・四國五郎と原爆の表現者たち」永田浩三／著、WAVE 出版、2016

「ひろしまのスケッチ」四國五郎／著、広学図書、1985

【四國五郎さんプロフィール】

大正13(1924)年5月11日～平成26(2014)年3月30日。
広島県豊田郡樫梨(くわなし)村椋梨(むくなし)(現・三原市)出身。昭和20(1945)年、満州で武装解除となり、ソ連に抑留される。23年に帰国し、広島に住む。24年、広島市役所に就職。26年、峠三吉の「原爆詩集」の表紙などを描く。
平成9(1997)年、第18回広島文化賞受賞。

【主な出版物】

「広島百橋」(春陽社、1975年)

出典 『広島県現代文学事典』岩崎文人／編、勉誠出版、2010
『中国新聞』(2014年4月2日朝刊)

